

第117回 薬学教育協議会 病院・薬局実務実習近畿地区調整機構委員会 議事録

日時：2023年1月20日（金）18:00～19:50

場所：WEB会議（Zoom）

出席者：

大阪府病院薬剤師会	竹上 学、土井克彦	京都府病院薬剤師会	橋元 誠、大津山裕美子(代)
兵庫県病院薬剤師会	矢野育子、槇本博雄	滋賀県病院薬剤師会	山川雅之、早川太朗、伴 正
奈良県病院薬剤師会	奥野智之、小川恵美子	和歌山県病院薬剤師会	田辺和史、野際俊希
大阪府薬剤師会	乾 英夫、伊藤憲一郎、松浦正佳	京都府薬剤師会	河上英治、小林篤史
兵庫県薬剤師会	笠井秀一、住谷庸子	滋賀県薬剤師会	隠岐英之、渡邊真樹
奈良県薬剤師会	堀本佳世子、楠本真也	和歌山県薬剤師会	稲葉真也、竹谷美賀子
京都薬科大学	橋詰 勉、津島美幸	京都大学薬学部	山下富義、津田真弘
同志社女子大学薬学部	芝田信人、関本裕美、内田まよこ		
大阪大学薬学部	上田幹子、廣部祥子、池田賢二(オブザーバー)		
大阪医科薬科大学	角山香織、栗原 健	近畿大学薬学部	大鳥 徹、小竹 武
摂南大学薬学部	菊田真穂、辻 琢己	大阪大谷大学薬学部	名徳倫明、小畑友紀雄
武庫川女子大学薬学部	内田享弘、田内義彦	神戸薬科大学	白木 孝、猪野 彩
神戸学院大学薬学部	徳山尚吾、橋本保彦	兵庫医科大学薬学部	清宮健一、桂木聡子
姫路獨協大学薬学部	柳澤吉則、加藤史恵	立命館大学薬学部	藤田卓也、角本幹夫
和歌山県立医科大学	須野 学、平田收正(監事)		
徳島文理大学薬学部	四宮一昭	徳島文理大学香川校薬学部	川添哲嗣
就実大学薬学部	島田憲一	福山大学薬学部	片山博和

(順不同、敬称略)

協議事項

1. 2022年度実務実習について

委員からの発言はなかった。

2. 2023年度実務実習施設調整の進捗状況について

2023年度実務実習施設調整に関して名徳委員長から次の報告があった。

- ・施設調整が完了し、薬局実習調整結果についても各大学に送付済であること。
- ・病院の調整結果を、本日、事務局から施設に送付したこと。また、次年度以降も施設への報告はこの時期としたいこと。
- ・第Ⅰ期開始不可の学生については3月に再調整を行うこと。なお、学生間で施設を動かすことはミスが生じやすいので、できるだけ避けてほしいこと。

辻委員から、薬局施設調整の過程で学生が集中する施設があるので大学間での調整の必要があるとの意見が述べられた。

3. 2023年度の地区連絡会の日程（協1）

2023年度の地区連絡会の開催予定について、名徳委員長から資料（協1）に基づき説明があり、開催に向けて協力要請があった。関本委員から、京都府グループ16-19協議会（1月21日）では連絡会の内容も伝えること、名徳委員長から、奈良県連絡会（2月19日）の開催方法をオンラインに変更する旨が述べられた。

4. 2023年度地区連絡会の配布資料について

- 1) 地区連絡会資料Ⅰ：2023年度実務実習実施にあたってのお願い（案）（協2-1）

2) 地区連絡会資料Ⅱ：実務実習指導・管理システム（WEB システム） 利用指針 2023 年度版（案）（協 2-2）

3) 実務実習におけるハラスメントへの対応（日本薬剤師会）（協 2-3）

地区連絡会での配付資料案について名徳委員長から説明があった。

- ・「2023年度実務実習実施にあたってのお願い」は昨年度に準じた内容であり、年度表記を2023に修正した。実習日程において第Ⅰ期における土曜日2日間実施の推奨は既に承認を受けている。公休の取扱、実習施設と大学の連携は現行通りである。

- ・「実務実習指導・管理システム（WEBシステム） 利用指針」は、大きな変更をしていない。学生プロフィールの生年月日取扱いの個所の文言を、「個人情報保護の観点から」に修正した。システムの改修項目を末尾に載せてある。

- ・ハラスメントについては、近年増加の傾向である。対応は施設と大学の協議が基本であるが、今回、薬剤師会の了解を得て「実務実習におけるハラスメントへの対応（日本薬剤師会）」を資料とすることにした。是非ともご確認いただきたい。

名徳委員長の説明の後、連絡会資料について承認した。

次に、テキスト小委員会・内田委員長から、実務実習テキスト2023年度版について、リフィル処方箋に関することなど多くの修正・改訂を行ったことが報告され、執筆者へのお礼が述べられた。また、じほう社から委員宛に送付済であることが報告された。

5. 令和4年度の事業中間報告（協 3）

角山副委員長から、資料（協 3）に基づき2022年度収支の中間報告があり、ワークショップ費については現在対面2回分の支出額であり、今後3回の実施で予算を上回る可能性があるとして述べられた。

6. 令和5年度の事業計画（近畿地区）および予算案について（協 4-1、協 4-2）

名徳委員長から、資料（協 4-1）に基づき令和5年度の事業計画が提案された。令和4年度と同様の計画であり、総会は年4回で次回は4月21日（金）18時開始を予定していること、ホームページの整備は予算の問題を抱えているが取り組んでいきたいことが述べられた。名徳委員長の説明の後、本事業計画を承認した。

角山副委員長から、資料（協 4-2）に基づき令和5年度予算案が提案された。ワークショップは対面開催・参加人数増加を見込み令和4年度から倍額としたこと、調整機構会議は年に1回は対面で行う機会を設けたいこと、事務局給与を増額したこと、維持管理費はホームページや施設配属調整用のWEB更新のため増額することが説明され、本予算案を承認した。

7. 実務実習指導者養成小委員会委員長の交代及びWS開催規模について（協 5）

実務実習指導者養成小委員会委員長の辞任に伴い、名徳委員長から、木下淳先生（兵庫医科大学薬学部）が推薦され、これを承認した。

次に、同小委員会から2023年度ワークショップ開催規模について1グループ8名、1回2Pまたは3P開催の提案があり（協 5）、これを承認した。

8. 2023年度ワークショップ実施計画について（協 6）

前議題に引き続き名徳委員長から、2023年度認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ開催計画について、資料（協 6）に基づき説明があった。5回の開催を計画しており、開催日日程は次の委員会で報告される。

9. 実務実習トラブル対策レポートについて（協 7）

名徳委員長から、実務実習トラブル対策レポートの提案があった。現在、実務実習の中止事例につ

いては大学から調整機構に報告していただいているところであるが、トラブルの内容や対応に関する情報を整理することを目的に本レポートによる報告を検討したいとのことで、資料（協 7）に基づき次の説明があった。

- ・タイトル：簡潔に
- ・データの取扱い：中止事例の報告、薬学教育協議会への報告、トラブル対策として解析のみ使用に区分しており、本レポート提出により別途提出を不要としたい
- ・「トラブル対策として解析のみ使用」の報告の場合、実際にトラブルが起こった事例だけでなく、インシデント的な場合も提出をお願いしたい
- ・個人情報不要
- ・今後の対策：対策を検討するために考察を記述していただきたい
- ・本レポートが集積することで、トラブルの原因や対策を探りたい
- ・レポート提出方法・取扱いの詳細は今後決めていきたい

説明後、本件についての意見は名徳委員長にお願いしたいこと、修正後、次回委員会に改めて提案することが述べられた。

10. 実務実習で起こる問題点と対応について（協 8-1, 協 8-2）

名徳委員長から、トラブル等運用方法における情報共有に関するアンケート調査（協 8-1）について報告があった。トラブルが生じた際の大学から薬剤師会・病院薬剤師会への連絡・運用について問題点を整理することが目的で、前回委員会において本アンケート調査実施を承認していただき、資料は結果をまとめたものである。

次に、名徳委員長からトラブル発生時の対応についての調査案（協 8-2）の提案があり、項目や内容を修正・整理しながら本件を進めることを承認した。

11. 相互連携についてのお願い（協 9）

名徳委員長から、コロナ渦で大学教員が実務実習施設への訪問ができないケースがあることを背景に、実習施設と大学側の連携不足が危惧されていることから、「実務実習における実習施設と大学の連携について（お願い）」文書（協 9）を関係者に送付したいとの提案があり、これを承認した。

12. その他

実務実習履修に際しての新型コロナウイルス感染症予防に関する体調管理・行動自粛について

名徳委員長から、学生に実習開始前2週間の待機期間を求めてきたが、社会情勢の変化があり、申し合わせ事項の変更について提案があった。意見交換の後、待機期間の短縮を含めて下記を承認した。

1. 実務実習前および実習中における新型コロナウイルス感染症に対する対応については以下を目安に各大学で定めることとする。
 - ・体調管理：実習開始1週間（7日）前から、実習期間中を含め、毎朝体温を測定し、咽頭痛、咳、倦怠感、下痢、などの有無を確認する。
 - ・行動自粛：実習開始1週間（7日）前から、実習期間中を含め、旅行・アルバイト・複数人数での会食等は厳に慎み、不要・不急の外出は控える。
2. 受入施設側の方針に従うとともに、施設側と十分な協議を行うこと。

報告事項

- ・名徳委員長から、認定実務実習指導薬剤師の認定期限や更新について、資料（報 1：認定実務実習指導薬剤師_2023, 2024 認定期限（都道府県別人数）、報 2：薬学教育協議会からのお知らせ）に基づき報告があった。また、平田委員から更新講習に関して、改訂コアカリに対応していくことなど説明があった。

- ・平田委員から、コアカリ改訂に伴い薬学実務実習に関するガイドラインの見直しを行っていることが報告された。

次回の委員会は、2023年4月21日（金）18:00～20:00（WEB 開催）となった。

以上

記録担当：橋詰 勉

資料

- 協 1 2022 年度各府県における連絡会日程の状況及び大学委員の担当者
- 協 2-1 2023 年度 実務実習実施にあたってのお願い（近畿地区）案
- 協 2-2 実務実習指導・管理システム（WEB システム）利用指針 2023 年度版（案）
- 協 2-3 実務実習におけるハラスメントへの対応（日薬）
- 協 3 令和 4 年度近畿地区調整機構中間予算報告
- 協 4-1 2023 年度近畿地区調整機構（近畿支部）事業計画案
- 協 4-2 令和 5 年度近畿地区調整機構予算案
- 協 5 指導者養成小委員会議事録
- 協 6 2023 年度認定実務実習指導薬剤養成のためのワークショップ開催予定大学（案）
- 協 7 実務実習トラブル対策レポート（案）
- 協 8-1 トラブル等運用方法における情報共有に関するアンケート調査
- 協 8-2 実務実習で起こる問題点と対応
- 協 9 相互連携についてのお願い
- 報 1 認定実務実習指導薬剤師_2023, 2024 認定期限（都道府県別人数）
- 報 2 薬学教育協議会からのお知らせ